

## 島根県立津和野高等学校 スクールポリシー【令和7年度版】

1. 学校教育目標：『世界で活躍する人を津和野町で育てる』  
 スローガン：『「やってみたい」を「やってみる」、自分らしく、だれかのために』  
 学校経営方針：『生徒そして地域の笑顔と幸せにつながる学校づくりを目指す』

2. グラデュエーション・ポリシー（育てたい生徒像）  
 『未来社会の創造に仲間と協働して主体的に挑戦しようとする人』  
 育てたい5つの資質・能力

基礎力	課題発見力	課題解決力	社会情緒的能力	キャリア探究性
自他の心身の健康	知的好奇心	創造力	表現力	自他理解
知識・技能	共感力	協働性	対話力	自己決定力
情報活用能力	思考判断力	多様性活用力	発信力	粘り強さ

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）

- (1) 普通科（2・3年生）・未来共創科（1年生）

教育課程においては、普通科の枠組みの中で教科学習・探究学習・情報活用・特別活動をバランスよく編成し、未来社会を切り拓くために必要な資質・能力の育成を目指す。特に情報活用では、データ活用力とデジタル技能を基盤となる能力として捉え、教科学習と探究学習の深化に応用していくことを目標とする。

- (2) 2年次からの3つのコース

1年次は普通科の科目を共通の科目として設置する。2年次からは生徒一人ひとりの興味関心や進路目標に合わせて3つのコースから選択できるようにする。普通科の枠組みの中で、各コースの目標に合わせた学校設定科目等の選択科目を設置する。就職と進学の幅広い進路実現のために多様な選択科目を設け、教科の特性に合わせて習熟度指導及び少人数指導を実施し、きめ細かな学習支援を目指す。

総合コース	探究コース	自然科学コース
基礎から幅広く学び、実習を通して教養を身に着ける	「総合的な探究の時間」を手厚くし、大学との連携による学術的な探究学習を行う	理系進学に対応するため少人数できめ細かい指導をする

- (3) 教科学習

- 主体的で対話的で深い学びを目指す。
- ICT機器を活用し、教科学習に探究的な学びを取り入れることを目指す。

- (4) 探究学習

- 地域や大学の多様なひと・もの・ことを活用した「総合的な探究の時間」を実施する。
- 自分・他者・地域・世界を理解したり、経験により知識を再構成したり、仮説を立てて検証したりする力を養い、多様な生徒一人ひとりの進路の選択や実現に資する活動を目指す。

- (5) 情報活用

- 「情報Ⅰ」や他の教科学習の中で、ICT機器の活用技能や情報の検索・分析・活用力を育成する。
- 2年次以降はコースの特性に合わせた学校設定科目を設置し、データ活用力やデジタル技能の育成を目指す。

- (6) 特別活動等

- 津和野らしさのある学校行事・ホームルーム活動・生徒会活動を実施する。
- 部活動を含めた生徒の主体的な課外活動を支援し、生徒の成長に向けて伴走する。

4. アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- (1) 学びを大切に、学びに本気で向かう姿勢を持つ生徒
- (2) 自律心を持ち、自他を大切にする生徒
- (3) 社会との関わりに興味関心を持っている生徒
- (4) 向上心を持ち、成長しようとする生徒